

教育目標「考動」

真昼の月 夜空の星 ～様々な感じようことのできることの素晴らしさ～

星座で唯一はっきりとわかるオリオン座は冬の晴れた夜にその姿を見せてくれ、星の光の美しさに魅了されます。さらに、少し時間が経過してから再度見ると星の位置が違うことがわかり、動いていないはずの「立っている位置」は、宇宙規模では高速にその位置を変えているのだ、と地動説や天動説で揺れ動いた科学の時代に思いをはせ、その神秘を感じたりもします。

星の光は、太陽が出ている時間には光を届けることはできません、夜の満月は夜道を明るく照らすぐらいの明るさで輝いていますが、真昼の満月はその姿を確認できても輝きとは異なる姿でその存在感を示しています。

私達は、ある時間、ある状況を観察しながら、様々なことを感受していますが、ひょっとすると、同じ時間や場所だけの観察によって、多くの素敵な輝きを見逃しているのかもしれない。

努力してもうまくできないこと、素直になれないこと、思い込み、思い違い、生活の中で感じた自分の思いが、時間や場面の違いで感じるものが変わった、という経験もあることでしょう。

ひとつの側面だけでなく、いろんな可能性が自分に秘められている、と自信を持ち努力を続けてほしいと、最近の行事の様子から思います。

9月の文化祭。ピアノ伴奏や指揮、合唱練習で必要な電子楽器を率先して運んだり、真っ先に合唱隊形に並んだり、生徒会主催のゲームを思い切り楽しもうとする、ひとりひとりの行動が雰囲気を変えます。10月の体育祭。全員リレーの第1走者・アンカーに選ばれた責任感と気迫、綱引き・大縄の前に円陣を作って気合を入れよう！と仲間を巻き込む、結果に歓喜したり悔しがったり、行事での姿は日常では発見できない素晴らしさを多く秘めていました。さらに、大きな声援の様に、はっきりと周りに熱が伝わらないけれど、心の中で静かに強く勝利を願い、闘志をもって応援したり、競技に挑んだりした人もいたことでしょう。

一步前へ＝成長しようとする目標は、人により違います。けれど『一步進もう！』とする思いの強さは同じはず。それぞれが願う一步を挑戦し続けられるために、学年やクラス、部活などの活動で『友達の一步前進を感じてすごいな！』と思えることが大切になってきます。

自分の基準だけで考えず、互いに「一步！」への敬意を感じ取ろうとすることで、自分自身の大きな一步を生み出してくれるでしょう。

「夢を描く」と題し「夢」「大切にしたいこと」「願い」「感じた大切なこと」を詩に表現してもらいました。その詩の言葉の中には、夢への強い思い、友達の素晴らしさ、先輩への憧れ等、大切なことを感じようとしている姿勢が感じられ、嬉しく思っています。裏面で紹介を始めます。

注意をされることに対して、素直に、すぐ態度をあらためるのは、誰もが難しいことです。そして、人の善さに気づき敬意を示すのも同じく難しいことだと感じます。

校舎の樹々の紅葉は既に始まっています。よく観察すると気がつきませんが、冷気に触れた外側から紅葉は始まります。



体育館前の樹木（40年前後援会により植樹）

「今日は寒いな」

と初めて思った日に樹に目をやると、既に紅葉は始まっていました。いつの日から「樹の葉」は空気に冷たさを感じ始めたのか、季節の変化を感じることは難しいことではないかと思いましたが、私の感性はまだまだ鈍いようです。

創立40周年を迎え、重点のひとつとして、「地域と共に」をテーマとして地域Ranger活動を展開しています。各学区や自治会で行われる活動に参加し、地域の「つながり」に加わりようとする人が増えてきました。紅葉が深まるように、「地域への思い」が広がっていくことを楽しみにしながら、その広がる様子を見逃してはいけない、と肝に命じているところです。

お互いに秘められた少しの輝きを感じ取ろうとすること、仲間同士が善さでつながろうとすることを重点にしながら、令和4年度40周年記念の年を有意義な一年にしたいと思います。

令和4年度 大津市 学校夢づくりプロジェクト 「夢を描く」 詩の紹介

今年度もたくさんの素敵な詩が生まれました。今号より紹介を始めて参ります。これからの生き方をどう考え、何を大切にしようとしているのか、美しい言葉で綴られた作品から、温かさと勇気、エネルギーをもらうことができます。いつまでも、素敵な自分の在り方を追い求めて生きていきたいですね。

「夢を見ること」

夢は人を豊かにする
そして少しの希望を与えてくれる
夢があるから
毎日頑張ろうと思える
けど夢というものは
時に足枷となってしまう
現実という恐怖に襲われるから
夢は自由だけど
現実是不自由だ
だけど自分から夢を諦めないでほしい
自分から諦めてしまったら
本当にその夢は
叶わなくなってしまう
自分から可能性をゼロにするのは
もったいないんじゃないか
夢を叶えてきた人は
どんなに打ちのめされても
諦めなかった人だ
才能やセンスだけでなく
努力し続けた人が
夢を叶えられるはず
夢を見続けることを
あきらめないで

第三学年生徒作品

「木の葉」

緑の葉を茂らせて
帰り道に立っている 一本の木
ふと 空を仰ぐと
木からはみ出した葉が
まぶしそうに きらきらと光る
一人で道を歩いたときは
風にゆられる影になって
寄り添うようにしてくれる
私もいつか そんなふうに
誰かに暖かく寄り添って
前を向けるようになりたい
そして
太陽に手をかざし
少しずつ
伸びていけるように

第二学年生徒作品

校外学習 in 石山・唐橋 (12組)



「活動後、しおりを見ながら振り返りをしています。」

第一学年生徒作品

「瀬田の唐橋公園」
僕は散歩が好きだ
瀬田川の唐橋公園を散歩すると
のんびりとしたいい気分になれる
春は桜が咲いてとてもキレイだ
桜の下を歩くのも楽しいし
お花見をしてもいい気持ちだ
夏はもちろん花火大会だ
花火のドーンという音が
聞こえてくるとワクワクする
橋の上でかき氷を食べながら
花火を見るのは最高だ
秋の唐橋公園もいい感じだ
落ち葉の遊歩道を
歩いていくのが心地よい

10月6日(水)に12組の校外学習が実施されました。行き先は「石山・唐橋」方面です。石山駅のテラスや瀬田の唐橋公園でゲームをしたり、各自テーマを決めて調べ学習をしたり、たくさん学び・楽しみ、みんなで笑顔になれる時間を満喫することができました。有名な「俵藤太の百足退治」の伝承についても学びました。校外学習後に自分で決めたテーマに沿って、学んだこと、楽しかったことをまとめた校外学習新聞が完成しました。現在学級で掲示中です。力作！！

第1学年校外学習が12月6日にも実施されますが、今回の経験と学んだことを生かせることが今から楽しみです。

